

いま、クラシックギターの世界は最高に面白い状況を迎えています。

いよいよギターの演奏技術が、ピアノやヴァイオリンが19世紀に達成したその完成を、150年ほど遅れて迎え、質的変換を遂げようとしているからです。そういう意味で、クラシック音楽の世界で今までその傍らにひっそりと咲いているかのようなだったギターが、最も雄弁に現代の音楽的状況を語ろうとし始めています。

その最先端を担う奏者が多く現れてきていますが、宗次ホールで今回その全貌を現すパブロ・マルケスは、実はその技術的最前線に位置するかという点では僕がそう思っていません。しかし、彼の演奏は最も聴衆を熱狂させる力を持っています。何故か？

彼の演奏技術は決して古くはありませんが、最先端を感じさせるものではありません。しかし、最先端を走るギタリストと同じ精度とクオリティを、強大なリスクを背負って、必ず完遂させるからです。それは想像を絶する精神の力技なのです。故にいつも奇蹟的な感動を与え、そこに現れた"音楽以上のなにか"を我々の精神に直接投げ込み、私たちが音楽と同化させます。表現において、リスクを背負うというのは必要な条件だと思いますが、彼はいつも最も大きなリスクを自ら選択し、そして生還します。それは聴衆までも音楽を超えた忘我の境地に連れていってくれるのです。

それは、まさしく歴史的な巨匠の到達した境地だと言って良いでしょう。
樋浦 靖晃(ギタリスト)

パリ国際、ヴィラ＝ロボス国際の両ギターコンクールで優勝



極限にまでその技巧と音楽的着想が磨き上げられたマルケスの録音を聴けば、彼がいかに完璧主義のギタリストであるかがわかるだろう。この人物がギター界の大物になるか、もしくは既に大物であるか。あなたの耳で判断すべきだろう。

Bruno Bianco, Les Cahiers de la Guitare

シューベルト／メルツ編の歌曲。マルケスの演奏スタイルは申し分なく、今まで私が聴いてきたものの中で間違いなくベストな解釈である。

Fabrice Holvoet, Guitares, Brussels

…パブロ・マルケス。変幻自在なニュアンスに驚くべき技巧。華やかさと繊細な表現。この録音を聴けば、悩殺されてしまうこと、間違いなし。

Lionel Salter, Gramophone, London

パブロ・マルケス Pablo Marquez, Guitar

アルゼンチン生まれ。10歳でギターを始め、その3年後にはオーケストラと共演を果たしデビューを飾った。その後ホルヘ・マルティネス・サラテ及びエドゥアルド・フェルナンデスに師事。学生時代にパリ国際ギターコンクール、ヴィラ＝ロボス国際ギターコンクールにて満場一致で優勝したほか、数々の国際コンクールで入賞。しかしコンクールは彼にとって確認に過ぎず、さらなる高みを目指して、その後パリのスコラ・カントルムで3年間ハビエル・イノホサに師事、更にハンガリー出身の伝説的ピアニスト、ジェルジ・シェボックにも音楽を学ぶ。

アムステルダム・コンサートヘボウ、シャトレ劇場、テアトロ・コロソ等、40か国の主要ホールで演奏、ベルリン・フィルをはじめとする世界中のオーケストラより共演者として招かれている。

ピエール・ブーレーズの現代音楽プロジェクトに定期的に参加。ペリオの生誕70年の記念演奏会ではゼクエンツァXIを演奏。ECMレーベルをはじめとする数々の録音は常に絶賛を持って迎えられ、バロックから現代まで全ての時代を網羅するディスクは数多の賞を受賞している。ルイス・デ・ナルバエスの全曲録音ではドイツでベスト・クラシック・オブ・ザ・イヤーを受賞した。

現在、スイスのバーゼル音楽院にて退官したオスカー・ギリアの後任を務めている。

くらしの中にクラシック



宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 ☎460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分

